

日ソ国交の原点を求めて：

いよいよ ディアナ号本調査

曾我兄弟の供養祭

五月一十八日、一十九日の両日、「曾我兄弟供養祭」が久沢の曾我寺で行われました。

この祭りは、「曾我物語」などで知られる曾我十郎、五郎兄弟の仇討ちから、兄弟の親を敬い、兄弟互いに助け合う姿を地区の青少年健全育成に役立て、また後世に伝えようと、昭和五十六年から地元有志の力で復活したものです。ことしは、恒例の稚児行列に武者行列も加わり、総勢三百人で二時間ほどかけて鷹岡地区を一周しました。

百三十四年前に沈没したロシア軍艦ディ

アナ号の船体捜査に取り組んでいる、「ディアナ号探査会」は、東海大学海洋学部に依頼し、六月十日から一隻の調査船により、いよいよ本格的な調査を開始しました。

また、同探査会は本調査に先立つ五月三十一日、富士文化センターに作家の大南勝彦さんとダイバーで日本水中考古学会理事の望月昇さんを招き、「もう一つの開国」をテーマに記念てい談を開きました。当日、会場は満員の盛況ぶりで、市民の関心の高さを示しました。



△水中超音波探知器の海中投入



△活発な議論を交わす大南、望月両氏



△行列は虎御前・化粧坂少将・稚児・武者行列と
続きます



渡辺市長も源頼朝役で登場

1、富士山のように 強く 正しく きまりを守り 平和で安全な社会をつくります

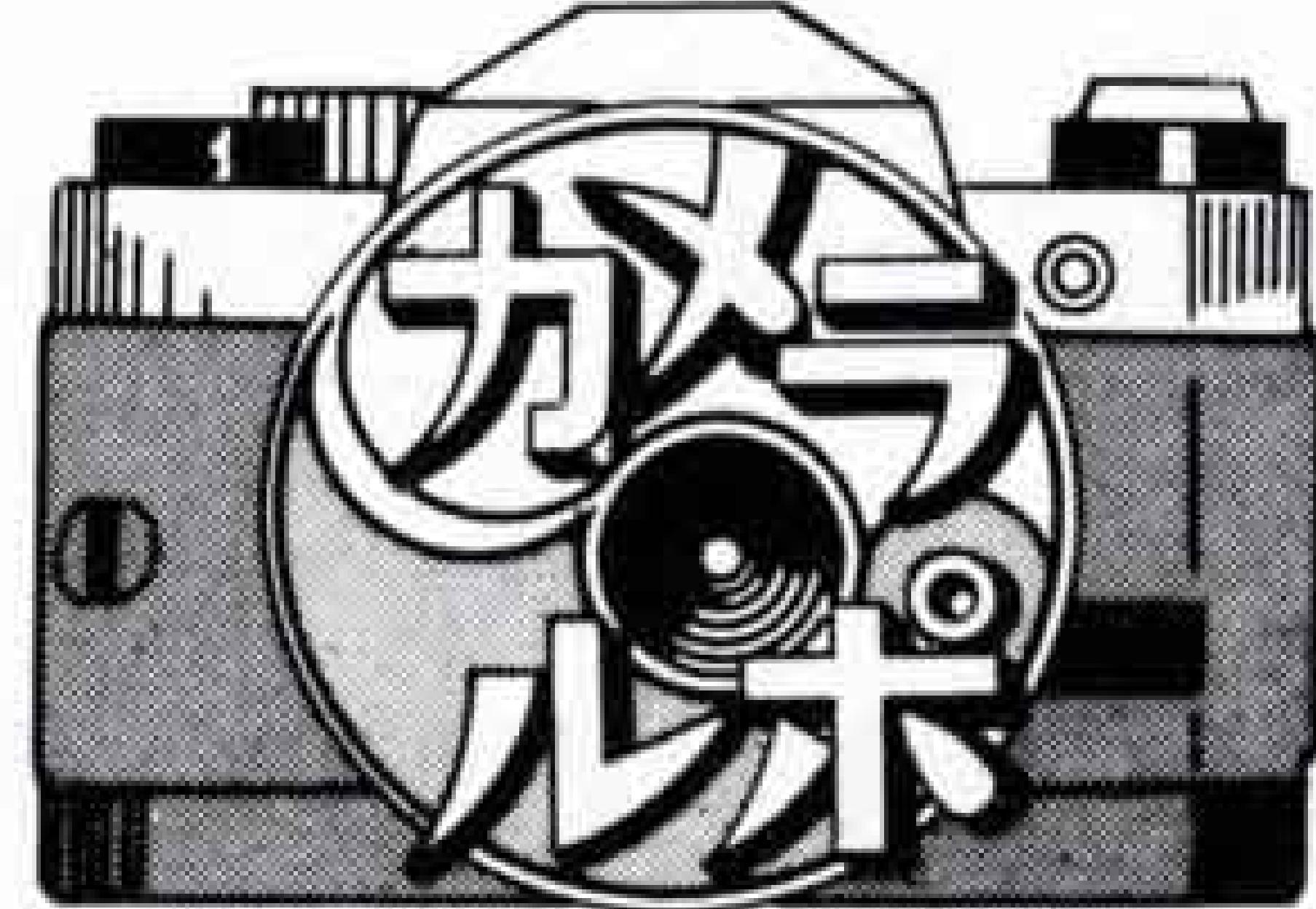
緑と水と野鳥のさえずり 須津川渓谷の自然を訪ねて



△「ヘビトンボがいたよ」、「ほんと!」



△「これはハナイカダ。新芽は食べられるよ」



五月十九日、南部プロック公民館は、自然の中で親子のふれあいをと、「須津川渓谷自然観察教室」を行いました。参加者は、親子百三十人。中には幼稚園児や六十五歳のお年寄りもいました。

新緑の中、初夏の日差しを受けて、先生の植物や野鳥の話にうなづきながら大棚の滝まで七段を歩きました。中でも子供たちに人気のあつたのが、須津川での水生昆虫の観察で、カゲロウ、ヘビトンボなどを見つけ「こんなにたくさんいるの!」と驚いていました。



△市庁舎二階市民デッキに整列した本部担当職員

市は五月三十日早朝、市職員を対象に「緊急地震防災動員訓練」を行いました。

この訓練の目的は、いつ何どき起こるかもしれない災害に対応して、即座に対応できる実戦力を確立するため、毎年抜き打ちで行なわれるものです。午前六時十五分に出動命令が出され、同七時までに千六百七十七人の職員が集まり、参集率は八五・九%とまずまずの成績でした。

緊急 地震防災 職員動員訓練

よりよいまち づくりを目指して

—63年度町内会連合会総会—

市内三百三十三町内会で組織される富士市町内会連合会は、五月三十一日、富士商工会議所で「昭和六十二年度総会」を開きました。総会のあいさつで大村会長は「市民と行政が一体となつて、よりよい富士市を…」と呼びかけ、また本年度の事業として、まちを美しくする運動、暮らしの安全を守る運動など七項目の具体的な事業が決まりました。



△総会であいさつする大村会長